

# 競 技 注 意 事 項

- 1 . 本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則、および本大会申し合わせ事項により実施する。
- 2 . 体調不良やその他症状がある場合は無理に出場しないこと。
- 3 . 感染防止につとめ、マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンスを徹底すること。
- 4 . 招集は、完了時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受けること。招集に遅れた者は、棄権として出場させない。
- 5 . ナンバーカードは、プログラムに記載されたナンバーを胸・背部に確実につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部のいずれかでもよい。また、トラック種目に出場する者は、競技者係から渡された腰ナンバーカードを、必ず右腰後方につけること。
- 6 . トラック競技のスタート合図は、イングリッシュコマンドを用いる。なお、不正出発（フライング）は、1回目で失格とする。
- 7 . リレー競技では、各チームとも必ず同一ユニフォームを着用することを基本とする。複数チーム出場する団体は、各ラウンドともエントリー6名の中でチームを編成すること。
- 8 . オーダー用紙は、変更の有無にかかわらず、予選・決勝とも招集完了時刻1時間前までに招集所に提出しなければならない。提出後は基本的にオーダーの変更は認めない。
- 9 . 5000mWは、男子30'00"・女子32'00"を超えて最終の周回に入ることはできない。
- 10 . 競技用具は、棒高跳用ポールの他は会場備え付けのものを使用することを基本とする。検定を受けた用具以外は練習用としても競技場内に持ち込んで서는ならない。
- 11 . 投てきの用具は、一般・高校・中学用のものを使用する。
- 12 . 投てき練習は、危険防止のため競技開始前に審判の指示によって行う。
- 13 . 練習場所は補助グラウンドとする。ただし、投てきの練習を禁ずる。
- 14 . 表彰は、各リレー種目の1～3位を競技終了後直ちに行う。入賞者は表彰者控え所に集合し指示に従うこと。
- 15 . 記録証を必要とする者は、本部へ申し出ること。（記録証代100円）